

眼瞼・眼形成外来に受診した患者の統計

2016年4月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院眼科にて、眼瞼・眼形成外来を受診された患者さん

研究協力をお願い

当科では「眼瞼・眼形成外来に受診した患者の統計」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2016年4月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院眼科にて、眼瞼・眼形成外来を受診された患者さんのデータを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきませんが、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：眼瞼・眼形成外来に受診した患者の統計
研究期間：研究実施許可日～2026年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 眼科 中野 優治

(2) 研究の意義、目的について

眼瞼・眼形成外来は眼瞼下垂など一般的な疾患から眼窩腫瘍などの稀な疾患まで多彩な疾患を対象とした専門外来です。しかし、この領域を専門にしている医師は4%と少なく、一般的な医療機関には専門的な教育を受けたことのない医師も多いです。そのため、悪性腫瘍をよく見られる疾患と混同することがあると報告されています。そのため、眼瞼・眼形成外来を受診した患者さんのデータをまとめ、紹介元の先生からの情報、診断の難しい疾患ごとの診断率やその特徴、医局員の手術内容や時間、合併症の発生率について検討することで、一般眼科医に啓蒙すべき内容、より良い医学教育の方法などを検討します。本研究により、眼瞼・眼形成領域疾患の正確な診断ができれば、早期診断、迅速な転医や治療につながり大きな意義があります。また、眼瞼・眼形成領域の教育についての具体的な研究報告はまだないため、本研究は先鞭をつける重要なものとなりうると考えています。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2016年4月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院眼科にて、眼瞼・眼形成外来を受診された患者さんのデータ（眼科的検査、画像検査、採血結果など）を解析し、各疾患の特徴や治療、医学教育に関する検討を行います。この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。試料はありません。年齢、性別、患者背景、眼科的検査、画像検査、採血データ、紹介状の内容、診断名（臨床診断、病理学的診断を含む）、手術（術式、手術時間など）

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 眼科 助教・医員 中野 優治
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24261
メールアドレス：n-yuji@nms.ac.jp